

平成 28 年度 大正地区センター委員会（第 2 回） 議事録

開催日 : 平成 28 年 3 月 24 日 15:30~16:30

場 所 : 大正地区センター 第一会議室

出 席 : 18 名

- ・センター委員 出席 13 名
欠席 1 名（委任状提出）
- ・戸塚区役所地域振興課 係長
- ・とつか区民活動支援協会 事務局長、
- ・大正地区センター 館長、副館長（2 名）

資 料	1	大正地区センター利用状況	資料-1
	2	平成 28 年度予算遂行状況	資料-2
	3	修繕費日・ニーズ対応費について	資料-3
	4	サービス向上・施設修繕/整備状況	資料-4
	5	自主事業計画	資料-5
	6	平成 29 年度予算	資料-6
	7	大正地区センターまつりを終えて	資料-7
		・利用者アンケート結果	
		・大正地区センターだより 4 月号	

■ 委員長 挨拶

まずはセンターからの説明を聞いたうえで、その後皆様からの意見を伺いたと思いますのでよろしく願いいたします。

■ 新任委員の紹介

■ 戸塚区役所 地域振興課 係長挨拶

地域振興課は区民利用施設の管理を行っています。大正地区センターはとつか区民活動支援協会に管理をお願いしています。今年度、大正地区センターは大きな事故もなく運営をしていただいたと思っています。これは普段のスタッフの目配りや、地域の皆様の温かい見守りのおかげと思い感謝しています。今年度は夏に体育室の大規模修繕を行い、利用者にはご迷惑をおかけしましたが、良くなりましたのでこれからはより一層地域の皆さんの集う場所として利用していただければと思っています。

■ 事務局長挨拶

日頃より皆様には大変お世話になっております。今後ともよろしく願いいたします。

1. 大正地区センター利用状況 (資料-1により報告)

① 利用者数推移

4～8月は工事に伴い体育室の利用ができなかったため、今年度の利用者は減少し約83,000人を見込んでいます。体育室は月平均2,200人の利用があり、仮にこの分を加味すると利用者数は94,000人となり前年に比べ微増であったと言えます。

今年度の特徴として、中学生以下の利用が増えていることが挙げられ、比率は18%に増加しています。大学生以下の利用人数を取り出した資料を見てもわかるとおり、9月以降の小中学生の利用人数が大きく増加しています。子育て支援、青少年健全育成、放課後の居場所づくりに注力、様々な取り組みをしたことの結果が表れています。

(取り組みについて表に添って説明)

- ・ おしゃべりひろば：
昨年度 区のモデル事業を大正地区センターで引き受け、引き続き開催。2月末時点で83回開催。一回あたり約9組の親子が参加しています。
- ・ Freespot： インターネット無料接続サービス。ゲーム機に繋げるという弊害もありますが現時点では来館者を増やすことが優先と考え、問題が生じた時点で策を講じることにします。
- ・ 情報検索パソコン：
9月に設置しました。利用人数はそう多くはありませんが、小学生が一番多く利用しています。

② 部屋稼働率推移

- ・ 平均稼働率推移
資料の折れ線グラフにおいて、28年度は2つの数字が記載されています。49.7%は年間の稼働率であり、これは4～8月に体育室が工事で利用できなかった影響で前年度値を割っています。54.6%は工事終了後、9月以降の参考数値ですが、ほぼ前年並みの数値に戻っています。
- ・ 部屋別稼働率
前年度値と比較して大きく変わっているところはありませんが、料理室は2.3ポイントアップしています。これは稼働率が低かったため、6月より利用料金を10%値下げしたことの効果であると思っています。料理室を利用するサークルの数も少しですが増えています。
一方で、音楽室は稼働率が高く希望が集中するため、予約が取り難い状況が続いています。これについては曜日・時間別の稼働状況をお知らせし、比較的予約が取りやすい曜日・時間へのシフトをお勧めしています。
- ・ 時間帯別稼働率
従来どおりの傾向です。改善はなかなか難しいのですが少しずつでも努力します。

③ 利用料金推移（収入）

体育室天井工事の影響で利用料金収入は減っていますが、その分を加味すればほぼ例年どおりの収入となっています。

【委員】：音楽室の曜日時間別の稼働率はいつもでているのですか？

【館長】：本日、利用者会議がありそこでお伝えしました。資料は1階ロビーに掲示します。

【委員】：音楽室の稼働率が高いとのことですが、余暇コーナーも音を密閉できるので、ここに音楽の物を揃えておけば、音楽室の利用をシフトできるのではないのでしょうか。

【館長】：余暇コーナーにはレーザーディスクのカラオケが設置されています。データは古いものしかないのですが、それを利用されているサークルもいます。

【委員】：レーザーカラオケは入れ替えが面倒で利用し難い。

【委員】：余暇コーナーに通信のカラオケを入れるとなると相当なお金がかかりますか？

【委員】：1曲いくらではないのですか？

【館長】：音楽室の通信カラオケは月14,000円のリースです。3時間で500円の利用料です。別途、部屋代780円がかかります。

【委員】：稼働率が上がるのであれば、余暇コーナーにも通信をいれることも考えませんか？

【館長】：今のところは考えていませんが、もう少し収入が増えた時に考えます。

【委員】：おとなやお年寄りばかりでなく、子ども達が多く来館するのはとても良いこと。一階ロビーに子ども達が大勢いて少し驚きました。子ども達の口コミでセンターの存在が広まると良いと思います。

【館長】：実感として子どもの来館が増えていると思います。校長先生からは何かあれば呼んで欲しいと言われていますが、問題はほとんどありません。

【委員】：小学生のパソコン利用人数に比べ中学生が少ないのは何か理由があるのでしょうか。

【館長】：小学生が多いとは言え、特定のお子さんが利用しています。

【委員】：セキュリティの制限はかけていますか。

【館長】：かけています。iフィルターと言う有害サイトを除去するフィルターを入れています。使用後はリセットをかけることでデータを消去しています。

【委員】：子どもの来館目的は何でしょうか。勉強道具を広げながらスマートフォンをしている子ども達のグループを見たことがあります。

【館長】：統計はとっていませんが、スポーツ、勉強など様々だと思っています。

【委員】：小学生が朝から友人同士で勉強をしている姿を見たことがある。良いことです。

【館長】：センターに来館されるお年寄りは元気な方が大勢いらっしゃるの、子ども達に勉強を教えたり、遊びの見守りなどお願いできればと考えています。

【委員】：だれが教えても良いというわけにはいかないと思いますがいかがでしょうか。

【館長】：事前に登録していただく等、ルールを考えてから実施したいと考えています。またいろいろと教えてください。

2. 平成 28 年度予算遂行状況 (資料-2 により報告)

体育室天井工事期間中の利用料収入を得られなかったため、予算に対して収入減となっています。しかしながら収入減に応じて支出もおさえたことから、収支で考えれば約 26 万円のプラスとなる見込みです。また、予算外ではありますが協会全体の予算により大正地区センター全てのトイレの洋式化とウォシュレットの設置を行いました。

3. 修繕費・ニーズ対応費について (資料-3 により報告)

今年度は収入減であったにも関わらず、トイレの洋式化などにより予算以上のニーズ対応費を支出し、利用者への還元を図りました。

4. サービス向上・施設修繕/整備状況 (資料-4 により報告)

高性能高速印刷機の導入により、利用者に大変喜ばれています。印刷収入は昨年比 170% となっていますが、インク代も嵩みこの部分だけで考えれば赤字です。

体育室は天井工事に伴い LED 照明となりました。大変明るくなり利用者に好評です。

【委員】：照明が明るくなり、天井が落ちてくる心配もなくなり皆さんとても喜んでいますが、ただ工事期間中は活動の為、他の施設を探すのが大変でした。再度、このような工事のないようにお願いしたい。

5. 自主事業計画について (資料-5 により報告)

平成 28 年度、29 年度 自主事業計画は資料のとおりです。自主事業とはセンターだよりでもご案内していますが、センター企画の講座です。興味をもった方が参加できます。

29 年度計画資料で抜けている事業が 5 件ほどありますので、開催回数等が変更になります。

【委員】：青指との共催子ども向け事業「門松づくり」「うどん作り」の開催月、募集人数が違います。

【館長】：改めて資料を作成し委員の皆様には追ってお送りします。

今年度より参加費に講師謝金相当分を上乗せし値上げさせていただきました。基本的には実費分の利用者負担となるように参加費を設定しています。

6. 平成 29 年度予算について (資料-6 により報告)

先日開催された理事会で承認された予算について説明します。収入について、協会全体の調整となるため、指定管理料が減収となっています。コピー印刷代について今年度は前年比 170% ではありますが、予算額は実績に合わせ精査しています。支出では子育て支援充実に伴う自主事業費、印刷機のトナー購入費として設備保全費がプラスになっています。体育室が LED 照明になったことで電気代は減ります。全体的に実績に合わせ精査し予算作成しています。

7. 大正地区センターまつりを終えて (資料-7 により報告)

12 月 3 日、4 日に、作品展示サークル 23 団体、学校展示 8 校、演芸部門出演者約 200 名、1,500 名もの方にお越しいただき盛況のうちに終了しました。サークルの皆様にご提供頂いた手作り品が当たる大抽選会も開催しました。皆様のご協力に感謝いたします。

例年、「大正フェスタ」と同日開催となっていますが、来年度「大正フェスタ」は日程変更をすると伺っています。

例年「大正フェスタ」と同時開催ですが、大正地区センターまつりと両方を一緒に見るのは無理だと思っています。来年度は「大正フェスタ」を日の長い時期の 6 月開催で計画しています。別日程になることで、大正地区センターまつりをじっくり観ることができるので、別日程にするマイナス要素はないと考えています。(委員長)

【委員】: フェスタと別にすることにより、地区センターまつりは内容の工夫が必要になると思います。10 年程前には模擬店が出店されていました。いろいろな団体に声を掛けるなどして参加者の募ってはどうか。また、現在更地となっている休日診療所跡地が利用できるのであればバザーを開催するなど、今までにない地区センターまつりを検討してみてもどうか。

8. 利用者アンケート結果について (資料 利用者アンケート により報告)

2 月から 3 月にかけて利用者アンケートを実施し、338 名の方に回答いただきました。今回は小学生にもルビをふったアンケート用紙を渡し、協力してもらいました。約 92% の満足度が得られていますが、8% の不満についてはできるところから引き続き改善してまいります。結果は 1 階ロビーに掲示してあります。

【委員】: 「体育室に腰を掛ける場所がない」と書かれています、これは为什么呢。

【委員】: 一部の地区センター体育室には設計段階から考えていたと思われる、造り付けのベンチがありますが、このことではないでしょうか。

・ 「フラッと戸塚」について （事務局長より説明）

とつか区民活動支援協会が管理運営をしている12の施設は生涯学習の場として多くの方にご利用いただいています。その方々の発表の場として内輪で楽しむだけでなく、参加した方にとって一生の思い出になり、また来場者が見込み一体感を持って楽しめるようなイベントを計画しました。今回はフラダンスに着目しハワイ在住の著名なナタリー・アイ・カマウウさんをお招きし、各施設でフラダンスをしていらっしゃる方に声をかけワークショップから一緒に参加し練習を重ねました。当日は一緒に舞台上で発表をしていただき、参加者はもちろん来場者からも大好評でした。

一昨年は神奈川フィルハーモニー管弦楽団とコーラスのサークルで同様の発表会を開催しています。費用もかかるため毎年とはいきませんが、2～3年に一度はこのようなイベントを開催したいと思っています。ご期待ください。

・ 委員の皆様からのご意見、ご質問

【委員】：センターだよりはどのように配布していますか。

【館長】：各町内会に回覧をお願いしています。尚、センターだより4月号に地区センターまつりは「大正フェスタ」と同日開催と書かれていますが、これは次号で訂正しますのでご容赦ください。

【委員】：自主事業のPRなど、他にはどのような方法でPRをしていますか。

【館長】：センターのホームページ、ブログ、館内掲示などでお知らせしていますが、皆様が一番ご覧になっているのは「広報とつか」です。

【委員】：和室の利用率を上げる対策として、机と椅子を常時セットしておいてはどうでしょうか。

【館長】：現在、畳に座ることが難しい団体には、和室にシートを敷いて机と椅子を入れてご利用いただいています。和室は親子連れなど和室として座って利用される方もいらっしゃるのですがこの方法でこれからもご利用いただきたいと思っています。また、和室を半分ずつ利用された場合、お互いに音や話し声が聞こえ活動に支障が生じることが問題となる場合があります。

【委員】：料理室の利用率が低いとの説明がありましたが、最近は惣菜も手軽に買えるようになり、料理に興味がある人が減っていると聞いています。よって、料理室の利用率が低いのは運営の仕方だけが原因ではないと思います。

以上